

成瀬ダムをストップさせる会
代表 奥州 光吉
横手市十文字町植田字一ツ屋 71
☎ 0182-44-5137

各戸配布された「成瀬ダムは絶対必要です」のパンフレットについての公開質問状

先日、市報と一緒に各戸配布された「成瀬ダムは絶対必要です」のパンフレットについて質問させていただきます。11 月末までにご回答くださいますようお願いいたします。

- (1) パンフレットには、団体名が記載されておりますが、住所・連絡先・発行責任者の氏名が記載されておられません。市民がダム問題で疑問や意見をあっても問い合わせることもできません。それが「市報」と一緒に配布されるということはどういうことなのでしょうか。
- (2) 「暫定豊水水利権」は、代かき期にはそれまでの 14.9 m³/秒から 30.2 m³/秒と 2 倍以上の水を取水できるというのですが、「減反が 3 分の 1 以上に及んでいるときにどうして 2 倍以上の水が必要なのか」その根拠を示してください。
- (3) 2 ページ目の増水の写真は、増田町戸波橋上流の皆瀬川のものと思われませんが、成瀬川との合流点より上流部にあたります。成瀬ダムの完成によってこの地点の水位は何cm低減するのでしょうか。写真は、「たとえ（皆瀬）ダムがあっても放流することがあるから注意下さい」とのメッセージにも受け取れます。私たちは、知事への申し入れでも明らかにしているように、「必要とされる区間での堤防嵩上げや河道掘削が有効」との立場ですが、この地点にこそ、そのような治水対策を早急に行うべきではありませんか。
- (4) 現在 300 億円以上のお金をかけて国営平鹿平野農業水利事業が行われております。併設型水路も造られ、下流地域にも配慮された構造になっています。この事業では水の便は改善しないのでしょうか。
- (5) ダムによる「水道用水」は、高価で水質も悪くなるのが常識です。安全でおいしく、しかも利用者負担も安く、安定して確保する手立では確かめられたのでしょうか。また、大松川ダムや玉川ダムの水は最大限有効に活用されているのでしょうか。
- (6) 先の総選挙では、「国民の生活が第一」と訴えた民主党が勝利し、政権が交代しました。現在の厳しい経済・政治状況で雇用の不安や、様々な生活不安にある秋田県民にとって、総工費 1,530 億円、秋田県の負担が 260 億円で計画されている「成瀬ダム」は、本当に必要なのでしょうか。限られた財政事情のもとで、県民の生活のために有効な施策を行うべきではないですか。